



ミス・ユニバース埼玉代表 筒井菜月さんが春の行田を満喫

4月25日、ミス・ユニバース埼玉県代表の筒井菜月さんが本市を訪れました。

筒井さんは、はじめに市役所で工藤市長と面会。市長から市内の観光スポットやイベントなど本市の魅力をPRされると、「ミス・ユニバース埼玉代表として魅力的なまちの一つである行田を全国に発信していきたいです」と意気込みを語りました。その後、古代蓮会館・さきたま古墳公園・石田堤などの観光スポットを巡った筒井さん。古代蓮会館の展望室で田んぼアートなどの説明を受け、興味を示していました。



友好都市の絆をたすきびつなぐ

行田市、福島県白河市、三重県桑名市の友好都市締結15周年を記念して、3市の市民ランナーが5月2日から6日までの5日間、白河市から桑名市まで約635キロメートルをたすきでつないで走る「絆リレーマラソン」が行われました。

2日午前4時に白河市を出発した白河のランナーは、その日の午後6時50分に行田に到着。翌日、行田のランナーが合流し、桑名市を目指して出発していきました。そして、6日午前10時50分についにゴール。工藤市長と鈴木白河市長から託された友好のメッセージを桑名市に届けました。無事完走を果たしたランナーたちは、このリレーマラソンでさらに絆を深めることができました。



春を全身で感じて

4月22日、長野地内の畑で総合学習の一環として、レンゲまつりが行われました。

畑いっぱい敷き詰められたピンク色のじゅうたんに、参加した東小学校3年生の児童47人らは大喜び。花のかんむりや花束を作ったり、追い掛けっこをしたりと、目を輝かせて遊んでいました。児童らは、この春の日の思い出を、お父さんやお母さんへのお土産話にしたことでしょう。



花の交流イベントが行われました

5月4日、東松山市の東松山ボタン園で、「花の交流イベント」が行われました。

この催しは、本市の花である「行田蓮」と東松山市の花である「ボタン」を交換し、両市の親交を深めるもの。忍城おもてなし甲冑隊による演舞が披露された他、県立松山女子高校書道部による書道パフォーマンスなども行われ、来場者は、両市の魅力を十分に満喫していました。



幻想的な光を放つホタルをお楽しみに

5月12日、古代蓮の里ホタルの川でホタルの幼虫の放流会が行われました。

古代蓮の里ホタルの会が主体となって行っているこの催しは、今年で9回目。ホタルの幼虫の放流の前には、ホタルの一生を描いた紙芝居を披露したり、童謡「蛍」などを参加者と一緒に歌ったりと、少しでもホタルに親しみをもってもらうと工夫を凝らしたものとなりました。

今回放流したホタルの幼虫は約5,000匹。6月末まで、ホタルが作り出す幻想的な世界を楽しむことができます。ぜひ、古代蓮の里に早朝だけでなく、夜も足を運んでみてはいかがでしょうか。



足袋産業で栄えたころにタイムスリップ

5月18日・19日、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催の「ぎょうだ蔵めぐりまちあるき」が開催されました。

この催しは、足袋蔵の魅力と再活用の可能性を知ってもらうために行われたもの。市内中心部にある17棟の足袋蔵などを巡るスタンプラリーや、作品の展示・販売、コンサート、昔の遊び体験など、魅力溢れる催しが行われました。また、昔懐かしいボンネットバスや人力車も行き交い、まるで足袋産業で栄えたころにタイムスリップしたかのようでした。

